

野球部だより

早朝野球，三師会野球大会

…野球部監督 権 成基…

早朝野球

早朝野球 3 部で完敗し，4 部は出場選手が集まらず棄権。再び棄権が危ぶまれた 2 部の試合でしたが，何とか 11 名が集まり梅雨のただなかの 6 月 28 日，西部運動公園野球場にて試合に臨みました。とは言え，出場できるのは実質 10 名。内訳は以下の通りでありました。30 歳代の若い選手が 2 名（河井，三浦）加わったものの，70 歳前後の選手 2 名（小川，松岡），もうすぐ 60 歳の選手 4 名（権，浅野，武田，妹尾），50 歳を少し過ぎた選手 1 名（太田），もうすぐ 40 歳 1 名（山地）とベテラン揃いの布陣となりました。

一方，対戦相手のみやび・ゆめ・メグミ調剤薬局 2018 は，元オリーブガイナーズの投手や元高校球児を主体とした 20 歳代が中心の一部常連チームです。両チームの年齢差と総合力にかなりの開きがあるものの，勝負は時の運。医師会エースの三浦がキャッチャー山地のリードで相手チームを抑えて，勝利を，勝ちをもぎ取る可能性は十分ありました。



一回

両チーム先発投手はともに順調な滑り出しで三者凡退であった。

二回表

この回先頭の一塁にレフト前に打たれると，五番はセカンドフライに仕留めたものの，六番がショート内野安打で一死，一二塁，七番四球で満塁となった。八番はピッチャーゴロに仕留めたが一塁悪送球で 2 点を先制され二，三塁となった。九番はピッチャーゴロで二死となるも，一番にレフト前にはじき返されこの回 4 点を取られた。さらに，四球とセンター前ヒットを放たれ二死満塁で四番を迎えたが三振に仕留めた。

二回裏

この回先頭の四番センター河井は死球で出塁、五番ピッチャー三浦ショートゴロの間に二塁へ進んだ。六番ライト権がレフト前ヒットで河井が駿足を生かして戻り1点を返したが、七番レフト浅野のセカンドゴロはダブルプレーとなった。

三回表

先頭の五番を三振に打ち取ったが、続く六番には不運なサード内野安打で出塁を許した後二盗された。しかし、続く打者をファーストゴロとショートフライに打ち取った。

三回裏

八番セカンド武田ファーストゴロ、九番ファースト小川三振で二死となったが、一番サード太田四球、二番ショート妹尾レフト前、三番キャッチャー山地死球で、二死ながら満塁となった。この好機に四番河井はレフト前にヒットを放ち2点差に追いついた。五番三浦に期待が高まったが、三振に倒れ三者残塁となった。



四回表

先頭の九番に四球を与えたが、後続の上位打線をサードゴロと二つのファーストフライに打ち取った。

四回裏

相手チームは投手を元ガイナースの投手に交代。権、浅野、武田の三人を簡単に抑えた。

五回表

先頭四番をファーストエラーで二塁へ出すと次打者を四球で歩かせた。六番をショートフライ、七番ファーストゴロで二死二三塁となった。八番を簡単に追い込みながらパスボールで1点を献上した。結局この打者を三振に仕留めただけに悔やまれる失点であった。



五回裏

小川、太田、妹尾は三者凡退に抑えられた。

六回表

時間切れの迫ったこの回を三浦は力強いピッチングで三者凡退に終わらせた。

六回裏

最後の攻撃で逆転したい医師会は、先頭の山地が四球で出塁した。続く四番河井は強烈な打球をセンター方向にはじいたが、ショートの好守阻まれセカンドフォースアウト。しかし五番三浦は四球で出塁した。六番は二回に先制タイムリーを打っている権。駿足のランナー二人がダブルスチールをきめて一死二、三塁としてチームの誰も

が逆転のシナリオを思い描いたが三振に倒れた。七番浅野に期待は集まったが同じく三振となり敗戦した。

若手が出場できる2部の試合に、期待の若手が仕事で出場できずベストメンバーで試合に臨むことができなかったのは本当に残念でした。しかし、試合には負けたものの三浦の好投で何とか試合になり、医師会野球部シニアの健在を再確認できたことは大きな収穫であったと思いました。

早朝野球大会2部 平成30年6月28日(木) 西部運動場

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
みやび・ゆめ・メグミ調剤薬局2018	0	4	0	0	1	0	5
医師会	0	1	1	0	0	0	2

1) 5太田 2) 6妹尾 3) 2山地 4) 8河井 5) 1三浦 6) 9権
7) 7浅野 8) 4武田 9) 3小川

三師会野球大会

今年は、歯科医師会主催で三師会野球大会が平成30年9月9日の防災の日に開催される予定でしたが、その日は前日からの大雨で雨天中止となりました。その日の午後6時からロイヤルパークホテル高松において、恒例の三師会野球大会懇親会が、司会進行の今城歯科医師会専務理事のもと開催されました。

野球大会中止で今一つ盛り上がりがないかと懸念されていましたが、歯科医師会の高橋代議員会議長開会のあいさつで始めると、すぐさま各テーブルは野球やその他で会話も弾み、和やかな宴席となりました。参加者紹介が各師会別に始めると、参加者それぞれの面白話も飛び出し会場にはしばしば笑いの渦が巻き起こりました。薬剤師会と歯科医師会の多くの面々は今年こそ医師会の連覇を阻むべく戦力の補強と練習を重ねてきたことを語り、しきりに試合中止を惜しんでいました。また、その日参加された多田元高松市医師会長によると、三師会は昭和37年から始まり開始当初から参加していたそうです。当時は歯科医師会が強くて医師会はなかなか勝つことがままならなかったそうです。



このような歴史ある野球大会で私が監督になり現在4連覇している医師会野球部が、更なる勝利を積み重ねることができると祈念しつつ会場を後にしました。